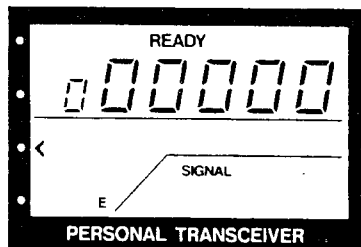
は　じ　め　に

ご使用になる前に、免許申請をしてＲＯＭカートリッヂを受け取ってからご使用ください。

最初にノーマルの取扱説明書をよくお読みになってから、本取扱説明書をお読みいただき正しい使い方によりご愛用ください。

■わからなくなったとき

いろんな操作をしていてわからなくなったときは、一度工場出荷状態へ戻して始めから操作してください。

操作手順早見表 ◎すぐ使う方への説明

	機　　能	使用ボタン	表　示	使用説明
1	スペシャルにするには！	M+0+C+暗証番号+HOLD+C	SP_on	暗証番号は
2	スペシャルでノーマル機能	HOLD+HOLD 再度 HOLD+HOLD	SP_oF SP_on	スペシャルでノーマル機能が使用できる 完全スペシャル
3	完全ノーマルにするには！	HOLD+(マイクの)REMOTE	S_End	完全ノーマルになる
4	群番号解読　ON OFF	HOLD+8 再度 HOLD+8	dISP d_OFF	ATIS信号を受信すると自動表示する 解除
5	着呼後の タイマーカット　ON OFF	HOLD+C 再度 HOLD+C	t_CUt t_USE	タイマーカット ノーマル
6	スキャンスピードの切換	HOLD+4 再度 HOLD+4	Hi SPd LoSPd	2倍高速 ノーマル
7	チャンネルの指定	C+Ch.数字+MON	P 123	123chを指定
8	特殊群番号	C+M+1+2+M+1+2+3	Ab 123	
9	ATIS信号カット　ON OFF	HOLD+5 再度 HOLD+5	At_oF At_on	ATIS信号カット ATIS信号送信
10	全群番号待ち受け　ON 〃　OFF 群番号の吸い取り	HOLD+CALL 再度 HOLD+CALL 例 メモリー6に吸い取る場合 M+6	-ALL- SInGL	リセット中全群番号待ち受け入感するとREADYが表示しチャンネルが移動する 全群番号待ち受け中入感した群番号を吸い取る
11	モードの切り替え バンドを上げる バンドを下げる	HOLD+1 HOLD+2	3　UP 1　dn	(モニター中、待ち受け中) 1のキーを押すごとに上がる 4のキーを押すごとに下がる
12	80ch/158ch切り替え ON OFF	HOLD+3 再度 HOLD+3	80ch 158ch	呼び出されたときは、相手局モードに自動的に変更されます。
13	空きチャンネル サーチ　ON OFF	HOLD+9 再度 HOLD+9	OP_ch US_ch	空きch 使用ch

	機　　　能	使用ボタン	表示	使用説明
14	メモリーの増設	HOLD + 7	EP_on	ランプが点滅となり4～8のキーが増設
		再度 HOLD + 7	EP_oF	増設解除
15	Eコードカット	9	Eが消える	
16	全モード待ち受け	HOLD + 0	0_ _ _3	例…640ch 全てのモードで、待ち受け、発呼、モニターできる
		再度 HOLD + 0	0_ _ _ _	解除
17	PTTをはなした時のリコール　ON	HOLD + 6	rc_on	
	OFF	再度 HOLD + 6	rc_oF	

スペシャル設定付加機能

スペシャル設定時に、キー操作をしなくても、次の機能が自動付加されます。

1．CQ "00000" でのリコール。
2．連続リコールが可能。
3．モニター受信中、PTTを押すと通話可能。
4．モニター受信中、通話中に機能変更ができる。
5．呼び出しを受けた直後は、その群番号、chを交互に表示。
6．通話中CALLキーで、バンドとch表示。
7．メモリー保存タイマーが無限。
8．マイクのENDキーでメモリーNo.が1chアップできる。
9．電源OFFでも、前の状態を記憶している。
10．数字以外の特殊群番号の設定。
11．chをKEY入力で設定可能。
12．通話制限タイマーが無限になる。

※計算機の機能がなくなる。

マイクキーの機能

状態＼操作	REMOTEキー	SHIFTキー	ENDキー
リセット中(待ち受け)	MONキー代用	ノーマル取説P－10参照	※メモリーNo. 1chアップ
モニター受信中	1chアップ	1chダウン	リセット
通話中	CALLキー代用	送信出力・受信感度切換	リセット
呼ばれた直後	※ch固定		リセット
HOLDキー操作後	※完全ノーマル		待ち受け

※印スペシャルで追加された機能。

◎とっても親切な説明

暗証番号は

1．スペシャルにするには

キーをＭ＋０＋Ｃ＋［暗証番号］＋ＨＯＬＤ＋Ｃで表示が［SP_on］でスペシャルが設定完了です。その時の状態は下記のとおりです。

①ノーマルバンドの状態
②群番号解読はＯＦＦ
③スキャンスピードはノーマル
④待ち受けメモリーはノーマル
⑤158chモード
⑥ノーマルバンドのみchサーチ
⑦Ｅコード受けつけ
⑧使用chのみサーチ
⑨群番呼び込みなし

またスペシャル設定と同時に下記機能が自動的に付加されます。

①ＣＱ“００００００” でのリコールが可能となります。
②連続リコールが可能です。マイクのＲＥＭＯＴＥキーで，押している間連続でリコールができます。
③モニター受信中、ＰＴＴ押すと通話可能です。
④通話中及びモニター受信中にメモリー番号、群番号変更ができます。
⑤着呼の直後は、そのchと群番号を交互に点滅表示します。
　そのchに固定したい場合ＨＯＬＤキー、マイクのＲＥＭＯＴＥキー、ＰＴＴのいづれも可能です。この操作で群番号のみの表示となります。
⑥通話中にＣＡＬＬキーで、バンドとchを表示します。
　例…［ＣＡＬＬ］＝＞［0　158］ノーマルバンドで158chにいる。
　ＰＴＴを押すと群番号表示にもどります。
⑦メモリー保存のタイマーが無限のため、リセットしても前回使用したchを記憶していて、モニターキーを押せば、そのchに戻ることができます。
⑧マイクのＥＮＤキーでメモリーNo.が１メモリーづつアップできます。
⑨電源をＯＦＦにしても、前に使用していた状態を記憶しています。
　例えば、通話中に電源をＯＦＦにしても、ＯＮと同時に同じchでREADY状態になります。
⑩通話制限タイマーが無限になり長話ができます。

2．スペシャルでノーマル機能を使うには

スペシャル状態で、ノーマル機能を使用することができます。

［ＨＯＬＤ］＋［ＨＯＬＤ］＝＞［SP_OF］と表示になり、ノーマルの機能を使用することができます。

再度［ＨＯＬＤ］＋［ＨＯＬＤ］＝＞［SP_on］と表示になり、スペシャルの機能となります。

3．完全ノーマルにするには

次の操作により完全ノーマル機にもどります。

[HOLD]+(マイクの) [REMOTE]=>[5_End] の表示でノーマル機能以降は、暗証番号がわからないと、スペシャル状態にもどれなくなります。暗証番号は、どこか目立たないところに、メモしておいてください。

4．群番号解読

次の操作により群番号解読がON/OFFできます。

[HOLD]+[8]=>[dISP]解読ON　再度[HOLD]+[8]=>[d_OFF]解読OFF

リセット、モニター、レディいづれの状態でも、ATIS信号を受信すると群番号を自動表示します。表示されるだけで自局の群番号にはなりません。PTTを押すと、もとの群番号になります。

群番号を解読したとき　[d] [解読した群番号]

→群番が解読されるとdが表示される。

5．着呼後のタイマーカット

タイマーカットON、OFFで下記のような働きをします。

	キー操作	表示	説明
カットON	[HOLD]+[C]	[t_CUt]	呼び出しを受けたとき、タイマーがカットされ群番号が表示されENDキーが押されるまで通話受信状態がつづく。
カットOFF	再度[HOLD]+[C]	[t_USE]	呼び出しを受けたとき、CQ“00000”で20秒、群番号で30秒点滅表示し、キー入力なければ待ち受けもどる。

（注）カット中は、呼び出しとともにREADYモードになりますので、ch表示はされません。

6．スキャンスピードの切換

スキャンスピードを速く、遅くに切換えられます。

[HOLD]+[4]=>[Hi5Pd]高速　再度[HOLD]+[4]=>[Lo5Pd]低速

7．チャンネルの指定

チャンネル指定が、キー入力によりできます。指定したい数字のあとにMONキーを押します。

例：20chを指定する。[C]+[2]+[0]+[MON]=>[? 20]　?はモード数字を表わします。

例：150chを指定する。[C]+[1]+[5]+[0]+[MON]=>[?150]

上記のようにch設定をしますと、ノーマル、ダウンモードとか全てのモードでch設定ができます。リセット、レディのどの状態からも操作できます。

01chの指定も可能です。ENDキーにより解除されます。

8．特殊群番号

数字以外の英文字で、特殊群番号が設定できます。
通常、群番号を設定する場合は、Ｃキーにつづいて数字キーを入力しますが、Ａ～Ｆの特殊、群番号を入力する場合は、Ｍキーを押してから数字キーを押すことにより可能です。
例：ＡＢＣＤＥの群番号を設定する。

[C]+[M]+[1]+[2]+[3]+[4]+[5]=>[AbCdE]

例：１３Ａ５Ｂ

[C]+[1]+[3]+[M]+[1]+[M]+[5]+[M]+[2]=>[13A5b]

（[M]↑英字　[M]↑数字　[M]↑英字）

以上のよう[M]キーを押すごとに数字キーと英字キーが交互に切換ります。

9．ATIS信号カット

ＰＴＴを握った時、はなした時、一分間に一回のＡＴＩＳ信号を止めます。

[HOLD]+[5]=>[At_oF]カット　再度[HOLD]+[5]=>[At_on]送信する

カットしても、リコールはできます。

10．全群番号待ち受け、群番号吸い取り

待ち受け中、発呼された全ての群番号により、待ち受けができます。

[HOLD]+[CALL]=>[-ALL-]ON　再度[HOLD]+[CALL]=>[SInGL]OFF

呼び出されたとき、一時的に相手の群番号に切換り、その群番号で通話が行えます。
リセットすると、前回表示の群番号にもどります。
全群番号待ち受けを設定中に、群番号吸い取りができます。
メモリー０より９までに入力できます。
例：メモリー７に吸い取りたいとき

[M]+[7] 表示されている群番号がメモリー７に記憶される。

11．モードの切り替え

モードの切り替えは、モニター中、待ち受け中にＨＯＬＤ＋１または２で行います。

[HOLD]+[1]=>[2 UP] １のキーを押すごとにモードが上がる。

[HOLD]+[2]=>[3 dn] ２のキーを押すごとにモードが下がる。

表示の１桁目がモードを表わしています。

例：ＭＯＮ、ＲＥＡＤＹ中に[CALL]=>[1 80] ダウンモード80ch

表示	モード	周波数
0	ノーマルモード（通常のパーソナルバンド）	903～905MHz
1	ダウンモード	901～903MHz
2	ダブルダウンモード	899～901MHz
3	トリプルダウンモード	897～899MHz

12. 80ch/158ch切り換え

呼び出し、モニターなどの機能を、80chモードに固定します。

[HOLD]+[3]=>[80ch] 80ch　再度[HOLD]+[3]=>[158ch] 158ch

ただし、呼び出された場合には、相手局のモードに自動的に切り替ります。

13. 空きチャンネルサーチ

モニターサーチを空きchサーチでとまるモードにします。

[HOLD]+[9]=>[OP_ch] 空きchサーチ　再度[HOLD]+[9]=>[US_ch] 使用chサーチ

14. メモリーの増設

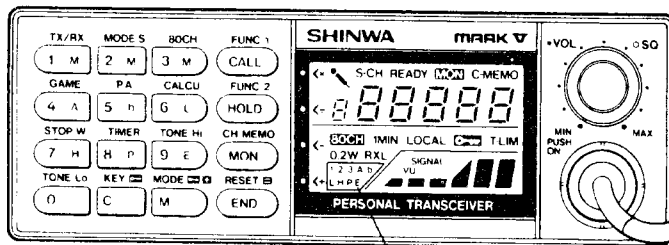
通常は、メモリー1から3及び表示の群番号で待ち受けができますが、メモリー4から8までも待ち受けに加えることができます。ただし、この時、特殊群番号の待ち受けも、セットされます。

[HOLD]+[7]=>[EP_on] 増設　再度[HOLD]+[7]=>[EP_oF] ノーマル

セットすると、数字キーの4から8までが、メモリー群番号と、特殊群番号の待ち受けセットランプが兼用となります。増設時はランプが点滅となり、ノーマル時は点灯です。

メモリー増設	状　態	使用表示	面　数
ON	待ち受け	ABLHPE 12345678　+表示群番号	15
ON	呼び出し	1234567890+表示群番号	11
OFF	待ち受け・呼び出し	123　+表示群番号	4

15. Eコードカット

Eコードで呼び出されない設定は、待ち受け中に(9E)キー押し待ち受け表示部から"E"表示を消します。これで設定完了です。

16. 全モード待ち受け

ノーマルモードから地下モードと全てのモードで、待ち受け、発呼、モニターができます。
キー操作は、[HOLD]+[0]でON、再度[HOLD]+[0]でOFFです。

例：ノーマルモードにいて640ch全モード待ち受けする場合

[HOLD]+[9]=>[0 _ _ _ 3] ON　　0モードより3モード全モード待ち受け

再度 [HOLD]+[9]=>[0 _ _ _ _] OFF　　0モードのみ待ち受け

（モード表）

0モード	ノーマル	158ch	
1モード	ダウン	320ch	地下１F
2モード	ダブルダウン	480ch	〃 2F
3モード	トリプルダウン	640ch	〃 3F
4モード	フォースダウン	800ch	〃 4F

17. ＰＴＴをはなした時のリコール

ＰＴＴをはなすと自動的にリコールします。

[HOLD]+[6]=>[rc_on]でON、再度[HOLD]+[6]=>[rc_oF]でOFF

ＰＴＴをはなしてリコールしますと発呼トーンが鳴っていますが、この間も通話受信状態であり相手機の通話が聞こえています。

ディスプレイパネルの表示について

スペシャル状態で[HOLD]キーを押すと

[?] [5][6][7][8][9]

5～9までの設定されている
スペシャル機能が表示されます
現在設定されているモードが表示されます

空白の6、9は設定されていないことを示します。

ＨＯＬＤ操作を終ると